

# 公開保育における施設関係者評価

**目 時** 令和7年9月17日（水） 10:00～11:00

**場 所** 社会福祉法人良友会 あゆみこども園

**評価者** 笠縫東小学校・笠縫東こども園・草津大谷保育園・第4保育所・常盤小学校  
・常盤東総合センターの職員 他

## I. 共に歩む部会

### 1. 子ども同士がつながり、共に歩む子どもの育成について

子どもたちが自分の「やってみたい」という思いを大切にしながら、興味のある遊びを自由に選び、主体的に活動できる環境が整えられているとの評価をいただきました。

異年齢の中でも自然な会話や意思疎通が見られ、自己主張をしながらも相手を思いやる姿、順番を守り待つ姿、玩具を譲り合う姿などが多く見られました。特に、4・5歳児が3歳児を助ける姿や、挑戦する友だちに「がんばれ！」と声をかける姿は、異年齢保育の良さが十分に発揮されているとのご意見をいただきました。

また、自分の思いを言葉にして表す力が、子ども同士をつなぐ大切な力になっていることも評価されました。

### 2. 学びや気づきについて

保育者の穏やかな表情や関わり方が、子どもたちの安心感につながっているとの声がありました。

子ども一人ひとりが満たされ、安心して遊び込める環境づくりが、子ども同士のつながりの基盤になることを改めて確認する機会となりました。

また、体を動かす環境設定や日頃からの丁寧な声かけにより、年齢に関わらず約束を守る姿が育っている点も評価されました。

幼児期からプライベートゾーンの学習を行っていることも、大切な取り組みとして受け止めていただきました。

## II. 生きる力部会

### 1. 「聞く・話す・自分で考える」姿について

広い空間を活かしながらも、一人ひとりを丁寧に見守る保育が行われていることが評価されました。

できるぎりぎりまで手を出さず見守り、できたことを素早く認める関わりが、子どもたちの自己肯定感や安心感につながっているとの意見がありました。

五感に働きかける取り組みや、視線が自然と上を向く園内掲示など、環境構成への工夫も高く評価されました。

### 2. 関わりを振り返って

大人が笑顔でいることの大切さや、異年齢集団の中で上の年齢の子どもが成長していく姿が印象的であったとのご意見をいただきました。

異年齢の関わりを見守りながら支援する姿勢は、他校種においても活かしたいとの声もありました。

施設の構造や遊具の工夫など、創意ある環境づくりについても評価をいただきました。

## III. 学びの力部会

### 1. 進んで考え、話し合う姿について

鉄棒や跳び箱などに挑戦する子どもたちが、自分に合ったコースを選び、笑顔で取り組んでいる姿が印象的であったとの評価がありました。

「もうちょっとだね」「もう一回やってみよう」という温かな声かけが、子どもの挑戦意欲を引き出している様子が見られました。

教具や場の設定が「やってみたい」という気持ちを引き出す環境となっていることが評価されました。

### 2. 実態に即した手立てについて

補助付き・補助なしの鉄棒や、子どもごとに工夫された用具の準備など、一人ひとりの発達や実態に合わせたきめ細かな配慮がなされているとの評価をいただきました。

ブロックの大きさの違いなど、選択肢を用意することで意欲的な活動につながっているとのご意見もありました。

また、保育者との関わりだけでなく、子ども同士で声を掛け合いながら活動する姿が多く見られたことも高く評価されました。

#### 総評

子ども一人ひとりの主体性を尊重し、異年齢の関わりの中で思いやりや自立心を育てていることが高く評価されました。

環境構成の工夫、見守る姿勢、温かな声かけが、子どもたちの自己肯定感や挑戦する力につながっているとのことをご意見をいただきました。

今後も「共生」と「共創」の理念のもと、子どもが子どもらしく夢中になって生きることができる環境づくりに努めてまいります。